学校番号	120

令和3年度　　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	2単位	年次	1年次(普通科)
使用教科書	「書Ⅰ」　（光村図書）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、用具用材の違いや筆遣いによるさまざまな表現について学びましょう。
・５書体や仮名を学ぶことをとおして、筆の弾力を使いこなし、感性を高め、表現と鑑賞の基礎的・基本的な能力を伸ばすことを目指しましょう。
・身近に飾れる個性豊かな書作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てましょう。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して，生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに，感性を高め，書写能力の向上を図り，表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし，書の伝統と文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	・観察 ・レポート ・ワークシート	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学 期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	書写と書道	・国語科書写と芸術科書道（硬筆も行う） 用具・用材 姿勢・執筆法 いろいろな線による広がり	○	○	○	○	a:書写と書道の違いと密接な関連について興味を持ち、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。 b:書写での基礎・基本を踏まえ表現を工夫している。 c:姿勢や執筆法の基本を身に付け表している。 d:書写と書道の類似点・相違点を理解し、多様な線質による表現の違いを感じ取っている。	・観察 ・ワークシート ・提出作品
	漢字の書（５書体）	・５書体の学習 基本・臨書・鑑賞 1文字創作作品制作 相互鑑賞会	○	○	○	○	a:各書体の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:様々な用具用材の違いを理解し、表現を工夫している。 c:筆の弾力を利用し、行書の基本的な用筆法を身に付け表している。 d:古典のよさや美しさを味わっている。互いの作品を鑑賞し、そのよさを創造的に味わっている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品

2学期	漢字仮名交じりの書	・漢字仮名交じりの書 作品制作（顔彩使用） 相互鑑賞会	○	○	○	○	a:創作活動について関心を持ち、積極的に表現技法を高めようとしている。 b:自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 c:作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付け表している。 d: 互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
	篆刻	・姓名印の制作 篆書	○	○	○	○	a:名前の篆書体を調べて書体の変遷について関心を持ち、印の表現活動に、意欲的に取り組もうとしている。 b:篆刻における分間布白を理解し、表現を工夫している。 c:趣のある印を制作するための印刀を扱う技法を身に付け表している。 d:方寸の世界のおもしろさを味わっている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
	漢字の書（楷書）	・楷書による学習 基本・倣書・鑑賞 校歌合作作品制作 相互鑑賞会	○	○	○	○	a: 楷書の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:用筆法による表現の幅を理解し、表現を工夫している。 c:筆の弾力を利用し、楷書の基本的な用筆法を身に付け表している。 d:古典のよさや美しさを味わっている。互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
3学期	鑑賞	・芸術祭 展示 発表 相互鑑賞	○	○	○	○	a: 作品を意欲的・積極的に展示している。 b:創造性豊かな展示や発表の工夫をしている。 c:書表現をするための技法を身に付け、自己の表現活動に発展させている。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
	仮名の書	・仮名による学習 基本・臨書・鑑賞 連綿・散らし書き 短冊・色紙 硬筆	○	○	○	○	a:仮名の歴史やその美（連綿、散らし書きなど）について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:仮名の書の美と基礎・基本的な技法を学び、表現を工夫している。 c:基礎的・基本的な連綿や散らし書きの技法を身に付け表している。 d: 日本の書の伝統と文化について幅広く理解し、仮名の書のよさや美しさを感じ取っている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　b:書表現の構想と工夫　c:創造的な書表現の技能　d:鑑賞の能力
※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。

学校番号	120

令和3年度　　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	2単位	年次	体育科(2年次)
使用教科書	「書Ⅰ」　（光村図書）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、用具用材の違いや筆遣いによるさまざまな表現について学びましょう。
・５書体や仮名を学ぶことをとおして、筆の弾力を使いこなし、感性を高め、表現と鑑賞の基礎的・基本的な能力を伸ばすことを目指しましょう。
・身近に飾れる個性豊かな書作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てましょう。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して，生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに，感性を高め，書写能力の向上を図り，表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし，書の伝統と文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	・観察 ・レポート ・ワークシート	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学 期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	書写と書道	・国語科書写と芸術科書道（硬筆も行う） 用具・用材 姿勢・執筆法 いろいろな線による広がり	○	○	○	○	a:書写と書道の違いと密接な関連について興味を持ち、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。 b:書写での基礎・基本を踏まえ表現を工夫している。 c:姿勢や執筆法の基本を身に付け表している。 d:書写と書道の類似点・相違点を理解し、多様な線質による表現の違いを感じ取っている。	・観察 ・ワークシート ・提出作品
	漢字の書（５書体）	・５書体の学習 基本・臨書・鑑賞 1文字創作作品制作 相互鑑賞会	○	○	○	○	a:各書体の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:様々な用具用材の違いを理解し、表現を工夫している。 c:筆の弾力を利用し、行書の基本的な用筆法を身に付け表している。 d:古典のよさや美しさを味わっている。互いの作品を鑑賞し、そのよさを創造的に味わっている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品

2学期	漢字仮名交じりの書	・漢字仮名交じりの書 作品制作（顔彩使用） 相互鑑賞会	○	○	○	○	a:創作活動について関心を持ち、積極的に表現技法を高めようとしている。 b:自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 c:作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付け表している。 d: 互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
	篆刻	・姓名印の制作 篆書	○	○	○	○	a:名前の篆書体を調べて書体の変遷について関心を持ち、印の表現活動に、意欲的に取り組もうとしている。 b:篆刻における分間布白を理解し、表現を工夫している。 c:趣のある印を制作するための印刀を扱う技法を身に付け表している。 d:方寸の世界のおもしろさを味わっている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
	漢字の書（楷書）	・楷書による学習 基本・倣書・鑑賞 校歌合作作品制作 相互鑑賞会	○	○	○	○	a: 楷書の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:用筆法による表現の幅を理解し、表現を工夫している。 c:筆の弾力を利用し、楷書の基本的な用筆法を身に付け表している。 d:古典のよさや美しさを味わっている。互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
3学期	鑑賞	・芸術祭 展示 発表 相互鑑賞	○	○	○	○	a: 作品を意欲的・積極的に展示している。 b:創造性豊かな展示や発表の工夫をしている。 c:書表現をするための技法を身に付け、自己の表現活動に発展させている。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
	仮名の書	・仮名による学習 基本・臨書・鑑賞 連綿・散らし書き 短冊・色紙 硬筆	○	○	○	○	a:仮名の歴史やその美（連綿、散らし書きなど）について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:仮名の書の美と基礎・基本的な技法を学び、表現を工夫している。 c:基礎的・基本的な連綿や散らし書きの技法を身に付け表している。 d: 日本の書の伝統と文化について幅広く理解し、仮名の書のよさや美しさを感じ取っている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　b:書表現の構想と工夫　c:創造的な書表現の技能　d:鑑賞の能力
※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。